

向学館通信

2006・6・29

高校生の多くは、いまからテストです。

テスト対策の学習について、もっと相談に来てください。そして、自習にももっと来るようにしてください。

★定期テストの結果は必ず、問題と解答を提出してください。

テスト対策の充実が高得点につながった！

中学生は、半数以上が、学校の定期テストが終わり、テスト結果をどんどん持ってきてくれています。今回は、ずいぶん高得点の人が増えました。各教科とも、高得点が続々と、喜んでいきます。こんなに高得点の人が増えたのは、テスト対策をしっかりとやり遂げる人が増えた結果だと思えます。

これまでは、高得点を取る人がだいたい決まっていた、それ以外の人はあまりいい点数がとれないという傾向をなかなか克服できませんでした。しかし、今回は、かなりいい点数の人が増えています。とても喜んでいきます。

今までにない高得点をとった人の誇らしげな顔が、次もやるぞ、という決意に見えます。

ただし、ごく一部ですが、テスト対策プリントを「欲しがらない」人や、プリントを家に持って帰ったけれども、ほとんど手をつけなかった子もいます。この人たちの対策は、また別の処方箋が必要かもしれないと、頭を痛めています。

『漢検』のテストは8月22日です

この夏の『漢検』のテストは、8月22日です。(申込み締切りは7月18日)。いまから、もう2ヵ月間もありません。前回合格した級より上の級の学習をしているはずですが、夏休みに入ってからペースを上げてください。

この件で、ご質問などありましたら、ご遠慮なくお電話ください。

理科・社会の学習の大切さ

学校の定期テストの前に、理科・社会の学習をする生徒たちの勉強の仕方を見ていますと、学習法が分かっていないか、まちがった勉強の仕方をしている人が多いのです。

まちがった勉強の仕方をする最大の理由は、「理科や社会は、暗記もの」という誤解なのではないかと思っています。どういうことかといいますと、極端に言うところ「教科書のなかの太字のところだけを覚えればいい」というやり方です。太字のところだけ覚えるのは簡単なことだと思うのは、脳の記憶の仕組みを考えない、大きな過ちです。じつは、簡単なことほど覚えにくく、記憶に残りにくいのです。

たとえば、よその電話番号を100件分覚えられますかという、たいへん無理だといえます。だが、名前や性格や家族構成や学校での友だち関係など、いろんなことが分かっている人のことを、100人覚えるのは簡単だし、いったん覚えるとおそらく一生忘れないかもしれない。つまり、情報が豊富なほど、記憶に残りやすいというのが、脳の特徴なのです。

だから、理科・社会の勉強も、覚えることと、論理的に理解することと、いろんなことに関連づけて分かっていくという方法を合わせてやっていくことがベストなのです。

これらの科目は、小学校で簡単なことを学び、中学校・高校と少しずつ複雑なことを学びますが、内容は重複しています。だから、小学校で習ったこと覚えている者は、中学校での学習が楽です。高校でも同じで、中学校での学習を覚えている人は、高校の勉強はそれほど困難ではありません。ところが、中1、中2の理科・社会で習ったことを中3になると皆忘れてしまい、高校受験になって、もう一度3年分をやり直するという、効率の悪いことをする人が後を絶たないので困っています。

◆受験や、学習全般の夏休み計画などについて、面談ご希望の方は、ご連絡ください。

◆夏休みの日程表を同封しています。当塾では、〇〇コース、というような既成コースはありません。夏休みも完全個別対応です。